

## 「情報公開文書」

## 単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って情報収集の段階で匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。該当と考えられるデータを除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

### 高度救命救急センターの集中治療室に緊急入院した患者に関する家族の 構造的側面・機能的側面の看護記録の記載状況の実態の研究

#### 1. 研究の対象

2023年5月8日から2024年5月7日までの間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターの高度救命救急センター集中治療室に緊急入院された患者様とそのご家族に関する看護師の記録が対象となります。但し、入院後72時間以内の看護師が記載した記録のみを対象といたします。

#### 2. 研究実施期間

実施許可日から2025年1月31日まで

#### 3. 研究目的・方法

下記の情報を利用し、緊急入院された方のご家族に関する看護記録について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において高度救命救急センターの集中治療室に緊急入院した方のご家族に関する看護記録を閲覧し、どのような内容が取得され、記載されているのかを調べます。

この研究に使用する情報として、診療情報から、「4. 研究に用いる情報の種類」の項目に記載された情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたやご家族を直ちに特定できる情報は収集しません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

下記の項目の記載の有無及び調査項目に関連した具体的な内容がある場合は個人情報に配慮し、端的に収集します。

患者情報：入院日、年齢、性別、病名、意識レベル、医療福祉サービスの導入状況

家族情報：連絡先、年齢、家族構成、職業、健康状態、経済状況、生活習慣、理解力、住宅環境、地域環境、家族間の情緒的関係性、家族間のコミュニケーション、家族内の役割構造、意思決定スタイル、家族の価値観、家族の社会性

## 5. 情報の提供先・提供方法

上記の情報を緊急入院された方のご家族に関する看護記録について解明するために、研究実施機関へ提供します。提供方法は、研究実施者が施設内のプライバシーが保たれた場所にて電子カルテより必要情報を収集します。

## 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。

東海大学大学院（電話：代表 0463-93-1121）

研究責任者 医学部看護学科 井上玲子

問い合わせ担当者 医学研究科看護学専攻家族看護領域 山田尚子

横浜市立大学附属市民総合医療センター（電話：代表 045-261-5656）

問い合わせ窓口担当者 看護部 河原春代